

献 辞

魏榮吉教授は、2007年9月26日、満65歳を迎えられ、2008年3月31日を以て名古屋外国語大学を定年退職されることになりました。

魏教授は、1966年7月、国立中興大学法商学部公共行政学科を卒業、その後来日され、1973年3月に東洋大学経済学部経済学科を卒業された後、1977年3月に東京教育大学大学院文学研究科東洋史学専攻修士課程を修了、文学修士の学位を取得、1980年3月に東京大学大学院社会学研究科国際関係論専攻博士課程を中退された後、1984年3月、筑波大学より学術博士の学位を取得されました。東海大学大学院文化研究科研究員、財団法人応用教育研究所研究員、財団法人国際博愛協会研修員教育担当部長を経て、1988年4月に、本、名古屋外国語大学外国語学部教授に就任なさいました。1988年は、本学開学の年であります。本学の開学から現在に至る中国語学科20年間の歴史は、魏教授の本学における教員生活そのものと重なります。特に1988年4月から1989年3月までは中国語学科長の要職にあり、初代学科長として本学科の基礎を固められました。その後本学科は、飛躍的な発展を遂げ、多くの優秀な人材を世に送り出し、東海地区唯一の外国語大学の中国語学科として高い評価を受けるまでになりました。北京外国語大学における夏季セミナー(初めての引率教員が魏教授でした)、北京外国語大学からの招聘教員受け入れ、多くの学生の中国留学等を初めとする中国の各大学との国際交流は、すでに確たるものとなりました。また、毎年、多くの学生が各種全国規模の弁論大会において高い評価を受けております。

魏教授は、本学にあっては、中国地域研究地理・歴史、中国文化研究、東洋史、東洋外交史、中国語等の授業を担当されてきました。中国地理・歴史の授業にあっても学生の語学力の向上をめざし、中国語文献を使用し、音読指導も行ってくださいました。

本学は魏教授の御貢献に対し、名誉教授の称号を贈らせていただくことにしました。これを記念し、本学部紀要第35号を魏榮吉名誉教授記念号とし、魏教授の御写真を飾り、年譜と著作目録を掲げ、魏教授を顕彰いたしたいと存じます。魏教授の今後の御健康と御幸せをお祈りいたします。

2008年3月31日

外国語学部 准教授
船越達志